

はじめに

読書は子どもが言葉を学び、考える力や創造力を養うとともに、また感動する力や思いやりなど豊かな心を育ていく上で欠くことのできないものです。

近年、テレビやゲーム機器、さらにはスマートフォンの普及に伴いメディアへの接触の低年齢化、長時間化による子どもの心身の発達の遅れや歪みが懸念されています。

乳幼児期からの発達段階に応じた読書活動の重要性は、単に子どものみならず大人も含めた社会として重要な課題です。

筑紫野市では平成24年度から平成27年度までを計画年度として「筑紫野市子どもの読書活動推進計画 ～読んですくすく つくしんぼプラン～」を進めてまいりました。さらに、平成28年度から31年度までを計画期間とし、「子どもに本をとどけるためのしくみづくり」を重点施策とした第二次の読書活動推進計画を策定いたしました。

この計画を実施することにより、子どもたち自らが本を手にするような環境がいつそう充実し、情緒豊かな心を育み、人生の可能性を広げることの一助になれば幸いです。

結びになりましたが、ご協力いただきました市民の皆様や関係者の方々に厚くお礼を申し上げます。

平成28年3月31日

筑紫野市教育委員会
教育長 上野二三夫